

S42-19477

Brief Description of the Drawing

The figure is a sectional view of a dry cell of the invention.

5 Detailed Description of the Invention

The invention relates to a dry cell in which a transparent insulating coat is formed on all the surface of a cathode zinc can, in which a power generating element is accommodated, except an anode terminal and the bottom portion of the cathode zinc can serving as a cathode terminal by coating with or

10 immersing in a soluble synthetic resin liquid such as a vinyl chloride solution or a vinyl acetate solution after the outer circumferential surface of the cathode zinc can is covered by an insulating paper cylinder on which a trade mark, a design and/or the like are printed.

15 What is claimed is:

A dry cell in which a transparent insulating coat 10 is formed on all the surface of a cathode zinc can 1 except an anode terminal 8 and the bottom portion of the cathode zinc can 1 by coating with or immersing in a soluble synthetic resin liquid such as a vinyl chloride solution or a vinyl acetate solution

20 after the outer circumferential surface of the cathode zinc can 1 is covered by an insulating paper cylinder 9 on which a trade mark, a design and/or the like is printed.

(THIS PAGE BLANK (USPTO))

乾電池

実 願 昭 40-16674

出 願 日 昭 39.11.16

(手続補正書提出の日)

考 案 者 村上守

茨木市大字丑寅200日立マクセル株式会社内

出 願 人 日立マクセル株式会社

茨木市大字丑寅200

代 表 者 皆川利男

図面の簡単な説明

図面は本考案乾電池の断面図である。

考案の詳細な説明

本考案は、発電要素を収納した陰極亜鉛罐の外周を商標、デザイン等を印刷した絶縁紙筒によつて包被した後、陽極端子および陰極端子となる陰極亜鉛罐の底部とを除く全表面に塩化ビニール溶液、酢酸ビニール溶液など可溶性合成樹脂液を塗布または浸漬することにより、透明な絶縁被膜を形成した乾電池に関するものである。

図面において、1は電解液2、減極合剤3、陽極炭素棒4などを収納する陰極亜鉛罐、5は絶縁底板、6は絶縁封口板7および7'の間に収納されたアスファルトピッチ、ワックスなどの絶縁封口層、8は陽極炭素棒4の先端に嵌着された陽極端子、9は陰極亜鉛罐1の外周を包被する絶縁紙筒で、これには商標、デザイン等が印刷されてい

る。10は陽極端子8と陰極端子となる陰極亜鉛罐1の底部とを除く全表面に塩化ビニール溶液、酢酸ビニール溶液などの可溶性合成樹脂溶液を塗布または浸漬することによつて形成した透明な絶縁被膜である。

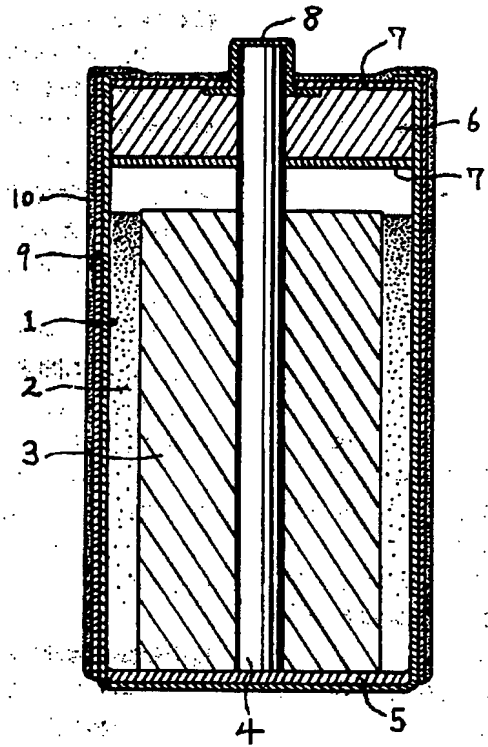
このように本考案の乾電池は、陰極亜鉛罐1の外周を絶縁紙筒9で包被した後、陽極端子8と陰極亜鉛罐1の底部とを除く全表面を塩化ビニール酢酸ビニールなどの合成樹脂からなる絶縁被膜10によつて被覆するものであるから、陰極亜鉛罐1の消耗や腐蝕による漏液が完全に阻止されるのはもとより、封口板7と陰極亜鉛罐1の上端折曲縁との間、および封口板7と陽極端子8との嵌合部分からの漏液をも完全に阻止するものである。

また、陰極亜鉛罐1の外周を包囲する絶縁紙筒9には、あらかじめ商標、デザイン等が印刷されており、その上を被覆する絶縁被膜10は透明であるから、従来のごとき外装筒を必要としない。また印刷表示を施した絶縁紙筒の外周を、合成樹脂チューブで包被する従来の乾電池に比べて、材料費が安価となり、作業能率がきわめて向上する。

実用新案登録請求の範囲

陰極亜鉛罐1の外周を、商標、デザイン等を印刷した絶縁紙筒9によつて包被した後、陽極端子8および陰極亜鉛罐1の底部を除く全表面に、塩化ビニール溶液、酢酸ビニール溶液などの可溶性合成樹脂溶液を塗布または浸漬することにより、透明な絶縁被膜10を形成したことを特徴とする乾電池。

特許出願書



BEST AVAILABLE COPY